



越谷市立平方中学校
学校だより

平方 プライド 8

令和3年11月1日 発行

☎ 343-0002
住所 越谷市平方2115
電話 048-977-3451
学校ホームページ
http://school.city.koshigaya.
saitama.jp/hirakata_j/
学校公式ツイッター @hirakata_chu
学校公式インスタグラム hirakata.j.h
発行責任者 校長 西村 稔

生徒数 1学年 102名 2学年 113名 3学年 115名 計 330名

「誉めること 叱ること」

西村 稔

今月を振り返ると、本来であれば1・2年生が中心となって行われる「新人体育大会」が予定されていました。しかし、このコロナ禍における感染防止の観点から、県大会が中止となり引き続き越谷・八潮地区大会も中止となりました。本当に残念と思っている生徒がたくさんいるのではないかと心配をしていましたが、ある日の3校時が終わった休み時間のことで。体育では、「バレーボール」の授業を行っていましたが、「校長先生も一緒に学習しませんか」と誘われました。私自身は、温かさを感じる生徒がたくさんいることに、いつも感動をしています。言葉の一言が、その時の気持ちを明るくしてくれたり、今後の道しるべとなる思いを持たせてくれています。このことが学校が「安心で安全なところ」と感じさせてくれているのではないのでしょうか。

さて、昔読んでいた本を読み返してみました。その内容は「褒めることと叱ること」です。



練習しなければいけないことがあります。多くの人は、その点に、気が付いていません。簡単な挨拶だって、挨拶の練習をしなければできません。挨拶をなさないと言葉で指摘するだけでは、身に付かないことがあるのです。挨拶ができる人には、簡単なことでも、挨拶のできない人にとっては、大苦痛なのです。

それでは、一流の料亭は、基本をどのように考えているのでしょうか。一流の料亭では、たとえば挨拶の仕方などができないと前提で考えています。教えなければできなくて当然であり、基礎をしっかりと身に付けることの大切さを時間をかけて行っています。しかし、私たちは、物事が当然のごとくできるとして考えてしまい、できないことがあると叱ってしまうことがよくあります。それでは、子供たちは言うことを聞かないのが当たり前になってしまいます。

誉め上手、叱り上手という言葉があります。誉めることは、人間のやる気、意欲を生み出します。叱ることは、自制心、抑制心を養います。誉めることも叱ることも練習をしないと身に付かないのです。誉めることも叱ることも一歩間違えると相手に間違った認識を与えてしまいます。

人は、自分が生きていくうえで役に立つことが明らかであったり、自分のためになることだと自覚すれば、叱られても、受け容れることができます。しかし、なぜ自分が叱られなければならないかが、明らかでなかったり、納得できなければ、従わなくなります。それが集団を統制する目的であれば、反抗的になるか、無気力になるのは必然的と考えます。誉めること、叱ること、それぞれに目的を明らかにしていく必要があります。

私自信は、これまでこんなこともできないのかという立場に立って話をしたり伝えたりしていました。しかし、丁寧に話をすること、分かりやすく説明をすることで相手の方も素直に聞き直したり、できるようになりたいという思いになります。また、一流の料亭は、しっかりと基礎を教えながらしっかりとどこまでできているかを見届けることが大切なのかもしれません。その見届けが「誉めること・叱ること」であると思います。このように人とのかかわりを持つことで、納得感や今後のやる気、見通しを持った行動につながってくるのではないのでしょうか。

コロナ禍における人との関わりが難しくなっていますが、大切なかかわりを自ら求めていくことも必要に感じています。

合唱祭への取り組み

11月4日(木)(3年生)5日(金)(1・2年生)の合唱祭に向けて本格的に各クラスの練習が始まりました。今年度は音楽の授業だけではなく、昼休みを活用して音楽室や体育館などでの練習を行っています。生徒の様子を見ると、しっかりと音を取るために楽譜を見て歌っている様子が見えます。

3年生の有志合唱では、いち早く5階音楽室の前の廊下を活用して練習を行っていました。パートリーダーからも的確なアドバイスがあり、「さすが3年生!」を感じさせてくれました。本番が非常に楽しみになっています。この合唱祭の様子については、HP等で配信される予定となっています。



校長面接 はじまる

3年生の校長面接が始まりました。

やはりどの生徒も普段にはない緊張感をもって校長室のドアから入室してきます。進学先への志望動機については、しっかりと将来の目的を持った答え方をする生徒が多くいました。また、「平方中学校とはどんな学校ですか?」の質問にも、学校の特色を一人一人が感じたままの話をしてくれています。その答えからたくさんのお話を伺うことができています。また、着実に実績を上げてきている3年生の様子が分かりました。私自身の経験から面接は、誠実さが大切ではないのでしょうか。ごまかして何とか乗り切るのではなく、分からないことは「これから調べます」などのように答えた方がよい感じを相手に与えることができます。これも普段の生活からにじみ出てくることです。礼の仕方、「ハイ」という返事もきちんと行っていればできることです。これを機会に見直しを1・2年生もしてみたいはかがでしょうか。

睡眠講座 から

22日(金)に「睡眠講座」が行われました。季節の変わり目ではよく体調を崩してしまう生徒がいます。私たちの瀬克に睡眠に大きく影響があるというお話でした。また普段からどんなことに気を付けて生活するかについても講師の先生からお話いただきました。中学生は、8時間から10時間の睡眠が必要というお話です。体と心を休める睡眠を大切にしましょう。



11月の予定

日	曜日	行事等
1	月	1・2年委員会決め 3年三者面談
2	火	3年三者面談 火曜125634
3	水	文化の日
4	木	生徒会任命式 金曜日授業 3年生校内合唱祭⑤⑥
5	金	3年三者面談 木曜日授業 1年生校内合唱祭④ 2年生校内合唱祭⑤⑥
6	土	
7	日	
8	月	3年三者面談 月125634 学校徴収金集金日
9	火	3年三者面談
10	水	東部地区テスト
11	木	3年三者面談
12	金	「体力向上」研究発表
13	土	吹奏楽関東大会
14	日	県民の日
15	月	よみとれ VA! 水12345月6
16	火	スキー教室保護者会 学校徴収金集金日
17	水	つづれ VA!
18	木	専門委員会
19	金	薬物乱用防止教室⑥
20	土	
21	日	
22	月	
23	火	勤労感謝の日
24	水	つづれ VA!
25	木	3年期末テスト
26	金	3年期末テスト
27	土	
28	日	
29	月	よみとれ VA!
30	火	

「いいね賞」から

2学期に入り、「いいね賞」の稼働率がちょっと落ち込んでいるように感じます。皆さんの様子を見てみると、「これはいいね賞に値する」という活動がたくさんあるのですが、なかなか出てきていません。その行為に感謝をする気持ちができたなら、率先して自分の気持ちを「いいね賞」で表現してみてもはどうでしょうか。

2学期に入ってからの「いいね賞」を紹介します。

藤平一洗さん 奥谷一斗さん

ワックス掛けを手伝ってくれました。

熱田拓海さん 小畑遼斗さん

丸林伶音さん 北條 樹さん

ワックス掛けを手伝ってくれました。とても助かりました。

金子菜南さん 前島かのんさん

鈴木太智さん 漆山 瑠さん

放課後のワックス掛けで、助っ人として手伝ってくれました。

1年2組環境委員会

有川芽生さん 松本一夏さん 内山千聖さん 栗原心佳さん 新田美優さん

高橋恵菜さん 中島舞子さん 遠藤和奏さん

昼休みに会議室でとじ込みをしていたら、この8名が手伝ってくれました。本当に助かりました。ありがとう。

生井大介先生

土井駿介さん 白石田叶望さん 樋口拓音さん 松本早桃さん 小澤将之さん 榎本琉里さん

学年集会でみんなにわかりやすく伝えるために、劇団のように1週間台本をつくり、リハーサルを繰り返して、みんなの前で演じてくれました。堂々として、はっきりわかりやすく、とても上手でした。短時間で集中して仕上げていたの、さすが学級委員ですね。

倉持登紀子先生

生沼真太郎さん 佐藤彪人さん 堀部圭太さん

雨が吹き込んでいた通路を自らモップと雑巾でふき取ってくれました。 伊藤光芳先生

川島慎平さん 滑川達也先生

虫が出た時に、冷静に対処してくれました。

小澤将之さん 前島かのんさん 藤津茉那さん 後藤柚仁さん 藤崎実紗さん

石井 盤さん

昼休みに教室内にクモが入り込んで、クラスメイトが困っていたところ、捕まえて外に逃がしてくれました。

伊藤光芳先生

本間悠月さん

10月7日(木)深夜の地震の際、塾から一人で帰っていた僕を地震が落ち着くまでしばらく本間さんの家の中で匿ってもらいました。感謝の気持ちを表すために推薦しました。 山端晃汰さん

若林優奈さん 小松紗英子さん 平原尚美さん 佐藤一姫さん

大雨・暴風の日に、正門当たりの掲示物を拾いに行き集めてくれました。自分たちも濡れるのに、下校せずにわざわざ戻ってきて報告してくれました。 中島慎理先生

石嶋莉瑚さん 石田琉奈さん 江崎仁美さん 佐藤彩乃さん 會田有梨花さん

椿 結菜さん 石渡咲妃さん

私の落としたハンカチを拾って届けてくれました。一緒に探してくれた人たちがたくさんいました。ありがとうございます。

佐野 翼先生

吹奏楽部 関東大会へ

吹奏楽部 マーチングバンドコンテスト関東大会出場おめでとうございます。

野球部引き続き、大きな大会への出場を果たしました。県大会においては、吹奏楽部の部員も16名と中学校で出場した学校の中で最も少なかったのですが、堂々とした演技と演奏でした。しかし、日頃の練習の成果と一生懸命に演奏している姿に、参観した私は、非常に感動しました。人の心を揺れ動かす演奏は素晴らしいものがあります。厳しい練習にも精一杯の「ハイ」という返事を行い、チームが一つになって取り組んでいました。



私たち吹奏楽部は、日々の練習・仲間との絆・感謝の気持ちを忘れずに、日々練習に励んでいます。今、

「第56回マーチングバンド関東大会に出場することができるということになりました。もう一度舞台に立つことができる喜びと舞台を用意して下さった方々、いつも支えていただいている保護者の皆様、応援してくださっている方々に恩返しとして素敵な演奏ができるよう、部員全員で頑張っていきますので応援よろしくお願いします。

吹奏楽部部長 耳塚はなさん

私たちは、11月13日に行われるマーチングバンド・バトントワリング関東大会に出場させていただきます。本来出場できるはずではなかった関東大会で、演奏・演技させていただくことへの感謝をし、部員一同、精一杯頑張りたいと思います。また、大会を開催して下さる関係者の方々、応援して下さる保護者の方々、先生方への感謝の気持ちを演奏・演技にのせ、8分間楽しめるよう、これからの練習に繋げていきたいと思っています。応援よろしくお願いします。

吹奏楽部 榎本琉里さん